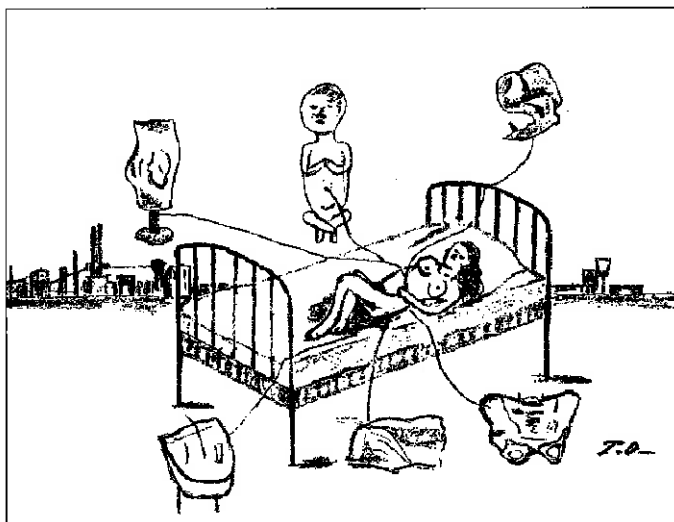


## 編集後記

当誌が1989年にVol.1 No.1の産声を上げて以来、10年以上の長い年月が経過した。会員各位及び研究会での講演者からの数多くの投稿と、編集委員並びに社保学術部員のご尽力により、本誌が今日を迎えたことに感謝する。

医学とりわけ、開業医の医療を取り巻く環境も目まぐるしく変わるなかで、平成12年4月からは介護保険が実施される運びとなった。われわれ会員は、明日に希望を持ちつつ、限り無く進歩のある診療を続けていきたいという願いを持っている。本誌は常に純粋に学術的な立場で、今後も編集をしたいと考えている。会員各位において、専門を問わず全科にわたり幅広く現在の標準的な知識を知って、毎日の診療に従事されることは、心強いことであろうと信じている。本誌「明日の臨床」を毎日の診療の一助にしていたきたい。

今後は気楽に投稿して頂ける様にとフロッピーディスク、E-Mailによる受付と、年2回の発行を目標に、編集関係者は努力しているので、今までも増して奮って御投稿を願いたい。(岡田達郎)



ヘンリー・フォード病院(1932年)MEXICOフリーダ・カーロ(1907-1954)自分が手術を体験した苦悩を女性らしいタッチで作品にした。

### 編集委員 (五十音順 \*印委員長)

岡田達郎*	池山淳	城俊明
高橋英世	堀尾仁	

明日の臨床

Vol.11 No.1

1999年12月15日発行

編集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会  
〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2  
☎ (052) 832-1345

制作 ブックエンド

領 価 1,000円・発行部数 6,800部